

## 第32回化学工学研究会「化学工業における AI、IoT 技術の導入動向」

共催 山口地区化学工学懇話会 山口大学化学プロセス強化研究教育推進体

多くの製造業の現場では、DCS（分散制御システム）を主体とする自動運転とデータ収集が行われています。これらは定常的な運転を安定的に行う上で、大きな効果を発揮する一方、収集したデータの分析や運転への反映、非定常現象のとり扱い、安全性の向上、新しいセンシング技術の導入などに検討の余地があります。これに対し、近年、AI（人工知能）やIoT（モノのインターネット）技術が注目され、様々な分野で導入が進められています。本技術の化学プラントへの適用を検討する際の利点や欠点、信頼性、また現状、どのような使い方が可能なのかを知ることは重要です。

本研究会では、最近の AI、IoT 技術の動向と、化学工業の製造現場で導入を進められている企業の方々を講師としてお招きし、講演いただきます。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

- 日時 令和2年12月22日（火）13:30～16:40
- 場所 オンライン開催

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「Zoom」を使用したオンライン形式にて実施いたします）

### 講演会（質疑含む予定時間）

受付（12:30～13:30）

お申込みいただいた際に差し上げるログイン番号をご用意ください。

挨拶（13:30～13:40）

宇部興産(株)顧問、山口地区化学工学懇話会会長 横田 守久

講演1（13:40～15:00）

「プラント設備保全における AI/IoT の活用

～AI の利用による設備監視の高度化と自主保安力の向上～」

日本電気株式会社 コーポレート事業開発本部シニアデータアナリスト 相馬 知也

休憩（15:00～15:10）

講演2（15:10～15:40）

「化学スマートファクトリー化に向けたデータ収集と活用」

宇部興産(株) 化学生産本部 生産技術センター情報技術グループオペレーションシステムチーム 山田 幸治

講演3（15:40～16:10）

「安定運転に向けた IoT・ビッグデータ活用」

株式会社トクヤマ エンジニアリングセンター設備管理グループ 設備診断チーム 森 圭史

講演4 (16:10~16:40)

「最近のIoT市場の動向-INCHEM TOKYO2019、プラントショーOSAKA2020 報告」

山口大学大学院創成科学研究科工学系学域循環環境学分野 教授 佐伯 隆

- お申し込みをご希望の方は下記アドレスまでメールにてご連絡ください。

山口大学工学部内 山口地区化学工学懇話会事務局 (担当: 木村)

Tel: 0836-85-9240 E-mail: konwakai(a)yamaguchi-u.ac.jp アットマークに変換ください

参加申込締切: 令和2年12月17日 (木)

(参考)

**相馬 知也氏** 略歴

日本電気株式会社 コーポレート事業開発本部

東北大学大学院医学研究系 特任准教授(客員)、県立宮城大学 非常勤講師



**経歴**

- ・2010年 AI技術(おもにインバリエント分析)のプラント保全適応研究/開発を開始。原子力発電向け故障予兆監視システムの開発にてデータ分析&PJリーダを担当・遂行
- ・2013年 NEC(ビッグデータ戦略室)にて、プラントデータ分析/技術戦略・開発/事業部支援/全社分析コンサル要員教育に従事
- ・2019年 NEC コーポレート事業開発本部 Industrial O&MBizDev Team にて工場向けAI適用のビジネス開発

**現在の仕事**

- ・主に工場向けの現場IoT×AI適用コンサルと導入支援
- ・データ収集/分析システムの、システムアーキテクチャ設計、IoTデバイス設計支援、ビジネスモデル構築支援
- ・非破壊検査におけるAI適用の研究(大学)、大規模科学実験施設へのAI適用研究(研究機関)
- ・JEITA スマート保安検討会主査ほか経産省におけるスマート保安関連の委員を兼任